

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	セラテックジャパン株式会社					
代表者名	氏名	平林 明	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市篠ノ井岡田500					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	各種半導体、ガラス、宝石類、金属、非鉄金属等の切断並びに研磨、鏡面研磨、加工、製造及びその製品販売。					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	1,024.19	1,003.71	918.13		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	1,895.13	1,857.23	1,691.73		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	11		14		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://www.crtj.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

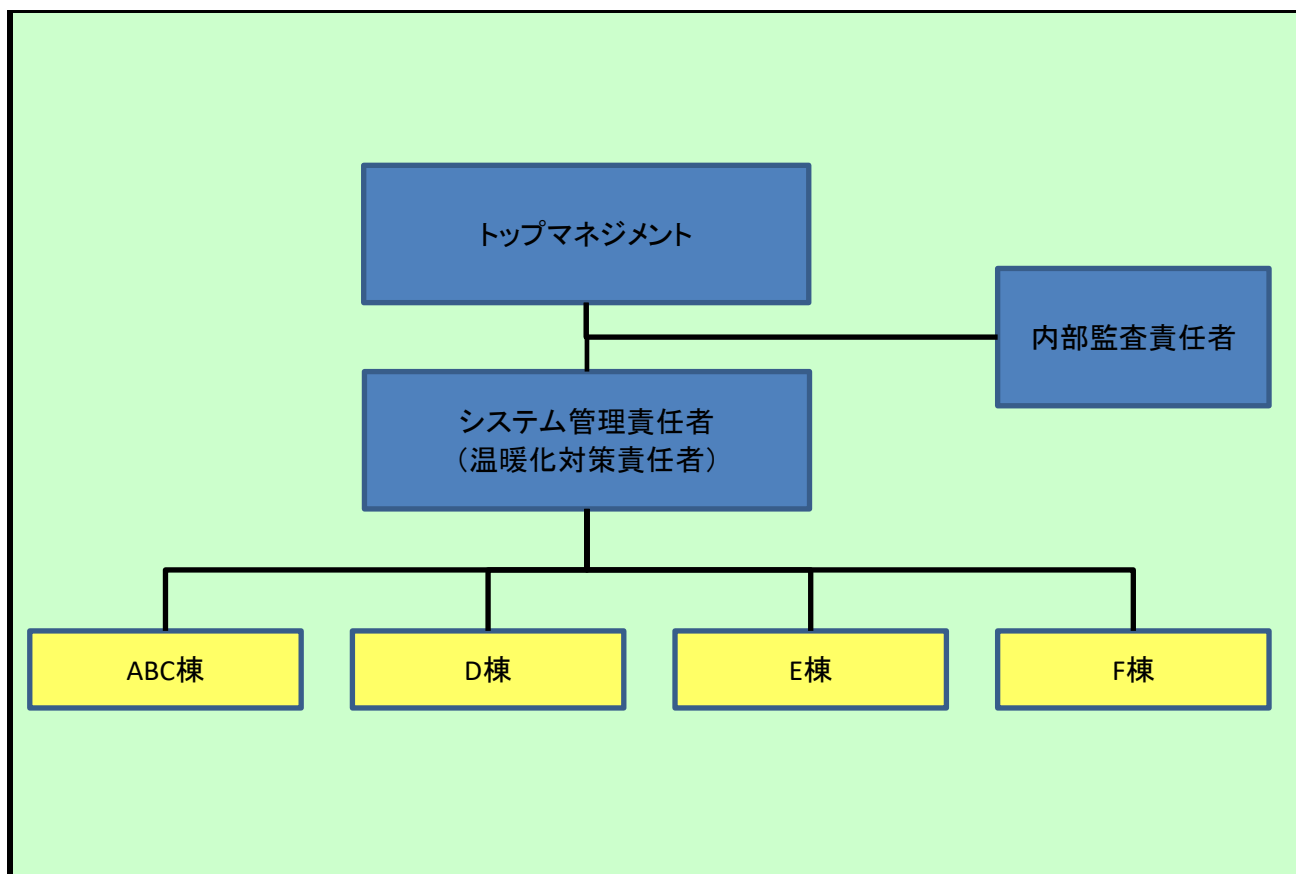
当社「環境方針」より抜粋

- ・環境負荷の少ない事業活動を念頭に、資源ロス、エネルギーロス低減の追及

【環境目標】

- ・エネルギー使用量の削減：当社が使うエネルギー使用量を毎年着実に削減し続ける

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

品質・環境会議 (月1回)

EMS活動における各サイト毎の環境会議 (月1回)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1,895.13	t-CO ₂	純生産高	3.34	単位	百万円
2021年度	調整後排出量	1,895.13	t-CO ₂	基準原単位	567.40	t-CO ₂ /	百万円
目標年度	目標排出量	1,857.23	t-CO ₂	目標原単位	556.05	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	目標削減率	2.00	%	目標削減率	2.00	%	
目標設定に関する説明	売上高から社外生産（外注生産）を除いた「純生産高」（当社内での生産）を原単位とし、基準排出量から削減率2%を目標と設定した。						
第一年度	排出量	1,691.73	t-CO ₂	純生産高	3.18	単位	百万円
	削減率	10.73	%	原単位	531.99	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	調整後排出量	1,691.73	t-CO ₂	原単位削減率	6.24	%	
	削減率	10.73	%				
排出量等の増減理由	生産高の減少に加え太陽光発電パネルの増設（140Kw）が一番効いているが、電力費が高騰する中で個々人の心がけも排出量減少に寄与したと見る。また、GX推進助成金の活用により導入した最新のエアコンも排出量の減少に寄与した。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	純生産高		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	純生産高		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	170303	太陽光発電設備	2022	38	2022	38
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	326.7	140	466.7		

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	1,895.13	1	1,691.73				
合計	1	1,895.13	1	1,691.73				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)		2		
合計	0	2	0	0
自動車総数	11	14		
次世代車導入割合		14.3		

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	取引先への訪問時は、積極的に公共交通機関を利用している
自転車の利用促進	社有自転車を増やし、棟間の人移動の際に利用
来客者の交通対策	最寄り駅からの分かりやすい地図を作成してHPにて案内
物流の合理化	特になし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2019
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2003
	名称	ISO14001:2015	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	ここ数年は積極的に井水を利用したり、QCサークルにより上水の使用量の多いサイトでの削減施策に取り組み効果を上げています。		2022

1.5 自由記載欄

当社は、企業理念として、「大自然との共生と調和が可能な事業活動のあり方を追求する」としており、環境汚染防止と環境保護に配慮した持続可能な事業活動の推進を行ってきました。直近の取り組みとして、これまでの発電量326.7kWに加え140kWの太陽光発電パネルの増設(2023年1月予定)は、買電量の削減に大きく寄与するものと考えます。更に、全社全員参加の環境活動として「環境に配慮した活動」を目標に、具体的で身近な環境活動を展開しています。この中では、ペレットストーブの導入や雨水の貯留槽の設置、コピー紙の削減、グリーンカーテン等々の環境に配慮した活動が積極的に行われています。